

## 平成25年度大学コンソーシアムとちぎ 学生活動支援事業 報告書

機関名	帝京大学 (宇都宮キャンパス)
団体等名	天文部
学生代表者氏名 (所属・学年)	帝京大学 理工学部 航空宇宙工学科 3年 有賀 壮登
責任教職員氏名	帝京大学 理工学部 航空宇宙工学科 教授 橋本 敬三

1. 事業名	街角観望会
2. 実施時期	平成25年8月2日(金)、平成26年2月12日(水)
3. 実施場所	JR宇都宮駅前
4. 事業の内容等	<p>&lt;事業概要&gt;</p> <p>街角観望会とは、駅前などで望遠鏡を展開し、一般の方々に覗いてもらい星空観測を体験してもらう会です。その際、スタッフは天文部員が行う。観望会では月、月や木星等の天体を観測の対象としている。</p> <p>&lt;具体的な事業内容&gt;</p> <p>JR宇都宮駅前にて、観望会を8月2日と2月12日に行った。6月15日も予定したが天候悪化で中止となった。観望会の様子などを別紙に記す。</p>
5. 事業の成果と今後の課題	<p>&lt;事業の成果&gt;</p> <p>望遠鏡に初めて触れたという参加者も多く、天文に興味を持っていただく機会を設けることに成功できたと思う。惑星など、望遠鏡で見なければ他の星に紛れてしまう天体の存在を知り、驚いている方も多かった。夏の会では栃木県と協力し、「とちまるくん」にも星を見てもらうことによって、街角観望会の存在や目的を広く広報することができた。</p> <p>&lt;今後の課題&gt;</p> <p>昨年度の課題だった街角観望会と書いた看板や望遠鏡を向けている天体を説明するパネルなどを設置してアピール活動を行ったが、スタッフへ質問されることが多い。暗いために看板が目立たないのだと思われる。であるから、言葉による説明も徹底していかなければならない。</p> <p>また、予定していた第1回が雨で中止になったことから、悪天候を回避してイベントを実施できるようにしたい。</p>

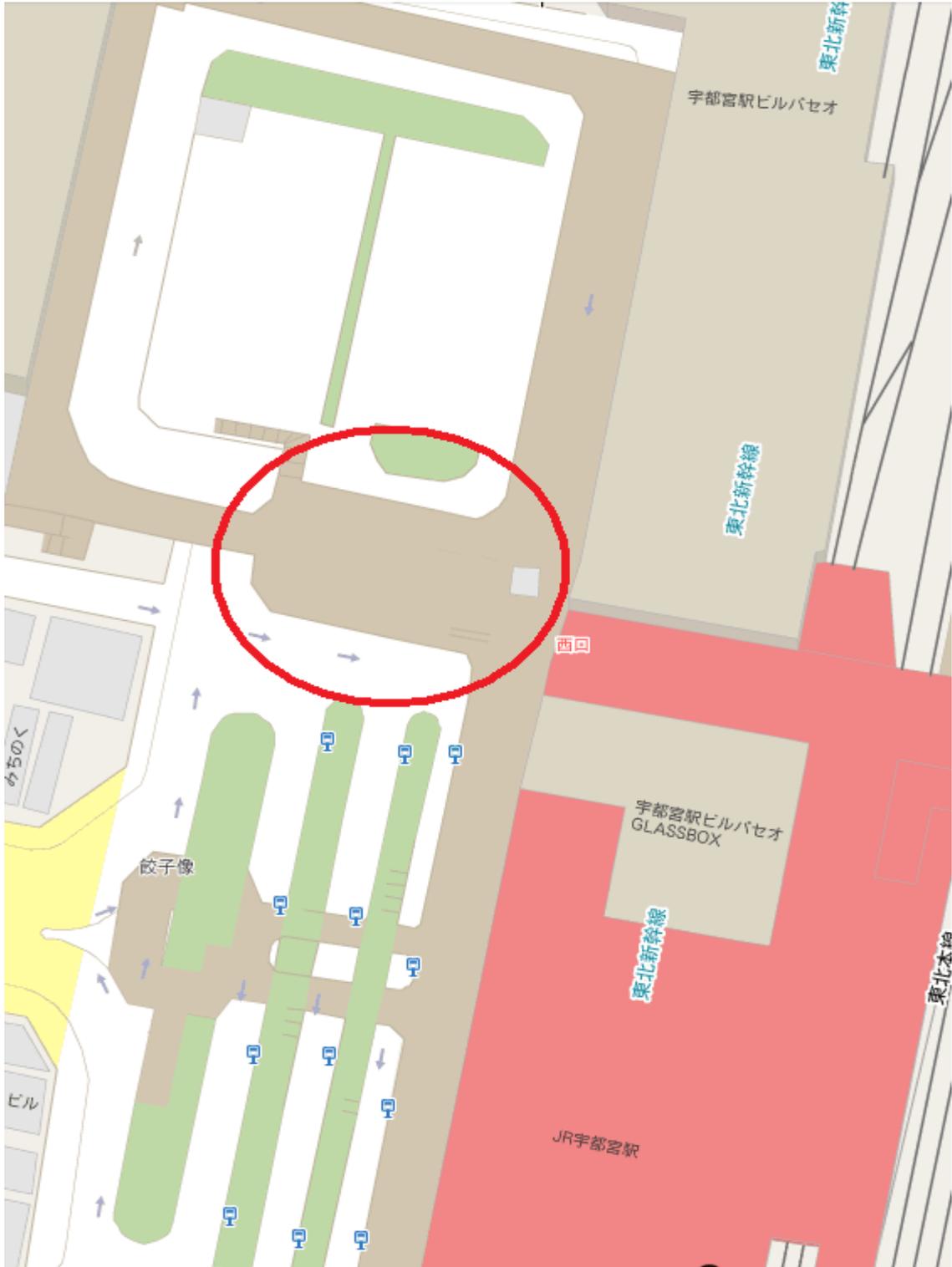
(注) 1. 記述が枠内に収まらない場合は、枠を拡大してください。

2. 事業内容がわかるような資料や写真などがあれば添付してください。

報告書(添付書類を含む)はA4判5枚以内にまとめてください。

3. この報告書は、各関係機関等に公表するとともに、大学コンソーシアムとちぎのホームページへの掲載を考えております。また、次年度以降の学生活動支援事業に役立てていきたいと思っております。

- ・開催場所の詳細 (赤丸のペDESTリアンデッキで開催した)



a. 平成25年8月2日(金) 1930時~2130時 観望対象: 月、土星、夏の星座



「とちまるくん」が望遠鏡を覗いている様子



簡易パネルを用いて、観望中の惑星について紹介している様子

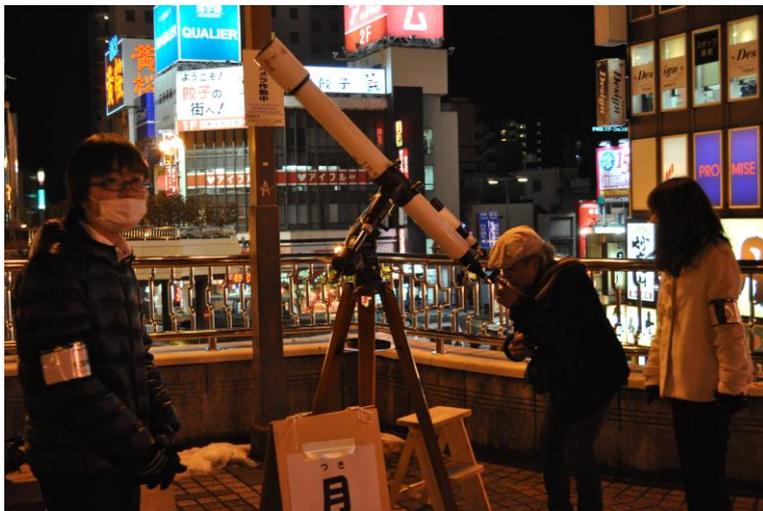


星座を紹介している様子

b. 平成26年2月12日(水) 1730時~2100時 観望対象: 月、木星、冬の星座



直前ブリーフィングの様子



月を観賞して頂いている様子



機材について紹介している様子